

ラジオ「福音の光」説教 「あなたも理想の人に変えられる」

姫路あけぼの教会牧師 廣田守男

「恐れるな。わたしがあなたを贖たのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。」

イザヤ書43章1節

皆さん、おはようございます。「Boysbeambitious!」「少年よ、大志を抱け!」この言葉はクラーク博士の残した言葉として良く知られています。クラーク博士は1876年に札幌農学校で教頭を務め、在職中、学生に多くの宗教的感化を与え、札幌を離れて帰国する際に残した言葉として有名です。

しかし先ほどの「Boysbeambitious!」の後に「InCrist!」の言葉があったことを忘れてはなりません。キリストとの人格的繋がりを持つ時、「希望を与えられ、理想の人に変えられることが可能だ」ということを是非知って頂きたいのです。

「人は出会いによって人格が変えられ、人生も変わる」と言われます。その意味でラジオをお聞きの皆さんも是非「良き師に出会い、良き友を見出し、良き本に出会」って良き感化を受けられることを願って止みません。

先ほどのみ言葉に「わたしはあなたの名を呼んだ」とありますが、これは天地万物の創造者である神様が「一人ひとりの存在を認め、すべてのことを知っている。その上であなたの名を呼ぶ」という意味です。誰でも自分の名前を呼ばれる程、嬉しいことはありません。

かつてイエス・キリストは、木の上で高みの見物をしていたザアカイに「ザアカイ。急いで降りて来なさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから」と語られたのです。イエス・キリストから名指して呼ばれたザアカイは、喜んでイエス・キリストを家に迎え入れ、お話を聞き交わることを通して、イエス・キリストを救い主と信じたのです。そのことによって彼は罪の許しと救いを経験し、人格も変えられ、生涯にも変化が生じたのです。「ザアカイ」という名前には「清い」という意味があるのです。親から「清く正しく生きて欲しい」との期待を込められて名付けられたのです。しかし成長した時に自分の仕事の立場を利用して不正をする人になってしまい、金持ちではありましたが、孤独の人となっていたのです。しかし、イエス・キリストを心に迎え入れ、信じることにより、いままでの生き方を悔い改め、不正をして得た利益を関係者の人たちに返金すると申し出、新しい生き方に導かれたのです。名実共に「清い人」にされ、理想の人に変えられたのです。

またオネシモという人がおりました。この人は主人ピレモンの奴隷でした。そのオネ

シモが、主人ピレモンのお金を持ちだし、ローマに逃げたのです。けれどもそこで彼は捕まり牢獄に入れられたのです。しかし、その牢獄の中でパウロというキリスト者であり、伝道者に出会い、イエス・キリストの福音を聞いたのです。そしてイエス・キリストを救い主と信じたのです。その時に彼も変えられたのです。パウロは主人のピレモンにオネシモのことについて手紙を書いたのです。オネシモは本来なら殺されても仕方がない立場に立たされていたのです。しかしパウロは「彼は、以前にはあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにとっても私にとっても、役に立つ者となっています」と記して主人のピレモンのもとに送り帰したのです。「オネシモ」とは「役に立つ者」との意味です。親が「役に立つ人であってほしい」と願って名付けたのですが、現実には「役に立たない」ばかりか「人に迷惑をかける」存在となってしまったのです。しかしパウロに出会い、イエス・キリストを信じることにより名実共に「役に立つ者」と変えられたのです。

皆さん、お一人おひとり「今の自分を認め、満ち足りていますか？」「現実の自分を受け入れていますか？」「自分はだめだと決め込んではいませんか？」「失望してはいませんか？」「惨めな思いを持ってはいませんか？」是非聖書の言葉を心に留めて下さい。「わたしはあなたを贖った」イエス・キリストは私たちの罪を背負って十字架にかかり、救いの御業を完成して下さいました。このキリストを信じる時に一人ひとりの罪が赦され、汚れが清められ、新しく変えられるのです。「あなたはわたしのもの」イエス・キリストは命がけの愛を持って私たちに関わり、導いて下さる御方なのです。また、どのような状況の中にあっても「わたしはあなたと共にいる」それ故に「恐れるな」と語りかけて下さっているのです。ですからお一人おひとりが是非「わたしも理想の人に変えられる」との希望を抱いて主に信頼されることを願って止みません。「B o y s b e a m b i t i o u s ! I n C r i s t !」